

♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

10月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「ゲンノショウコ フウロソウ科」

古くから薬草として知られ、和名「現の証拠」は薬効が実際に証拠としてあるという意味から来ている。



「サネカズラ マツブサ科」

常緑のつる性植物。葉には独特のツヤと手触りがある。樹液は古くから整髪料として用いられた。



☆「ヘクソカズラ アカネ科」☆

藪や道端に見られるつる性植物。葉の付け根に托葉がある。ヤイトバナ（灸花）の別名がある。



「ノウタケ ホコリタケ科」

写真は幼菌。成熟するにつれ表面にしわが寄る。始めは白っぽく後に茶褐色。肉の白いうちは食用可。



「ニガクリタケ モエギタケ科」

切り株や枯れた幹に群生する。薄黄～中央部はやや黄褐色。過去に死亡例のある危険な毒キノコ。



「カブラテングタケ テングタケ科」

広葉樹林の樹下に発生。柄の根元がカブラ状に膨らむ。ツバは2枚あるがいずれも落ちやすい。毒キノコ。



「シロホウライタケ ホウライタケ科」

枯れ木や落枝上に発生する。傘は径0.7～3cm。ひだは疎らで不規則に波うつ。柄の下部は黒色を帯びる。



「ドクベニタケ ベニタケ科」

針葉樹林や雑木林の地上に群生。成熟後の傘は中央がくぼんだ饅頭型。雨で退色しやすい。毒キノコ。



「コテングタケモドキ テングタケ科」

シイやカシ等の広葉樹林の地上に発生。傘の表面は暗褐色～灰褐色でかすり模様がある。毒キノコ。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

ようこそ！宇久井ビジターセンターへ！秋の園地では沢山のキノコが見られます！可愛らしいですが、危ないので触らないようお願いいたします。

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026年10月前半号

宇久井ビジターセンター



吉野熊野国立公園
宇久井半島

＜散策時間の目安＞

○ビクターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m

○ビクターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m

○ビクターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m

○ビクターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m

○ビクターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

赤灯台

地玉(じごく)の浜

駒ヶ崎灯台

フェリーターミナル方面
通行できません

千尋の浜

(上地の浜)



南紀勝
休暇村

外の取

松尾展望広場

凡例

 駐車場

あずまや

 室内板

 展望地

水道

 お手洗い

自動販賣機

功

半道

調表路

一 林内

井階段

灯台まであと4分

ネズミモチ

ヒメユズリハ

レナノキ:

モチノキ



木のすき間から浜が見えます。

モチツツジ